

CONTENTS

町長からのメッセージ	2
京丹波町の概要	2・3
きょうたんばMAP	4・5
京丹波の四季	6・7
こだわりのブランド産品	8・9
観光名所・映画のロケ地	10・11
伝統文化・文化財	12～15
京丹波町のここがいい	16・17
京丹波の歩み	18・19

町長からのメッセージ

京丹波町は、京都府の中央に位置し、古くから交通の要衝であり、人の交流が盛んになる可能性を秘めております。

また、黒大豆や丹波くり、京野菜などの素晴らしいブランド産品を中心とした「食」は京丹波町が誇る最大の魅力であり、この魅力を最大限に生かせる施策を展開し、京丹波町で「新たなヒトとモノの流れ」を生み出したいと考えております。

私は、活力がみなぎり、明るく温もりのある京丹波町の実現に向けて、町民の皆様とともに町政を推進してまいります。そのためにはまず、町民の皆様が「元気」で「希望」を持ち「笑顔」で過ごせることが大切だと考えています。

このため、「健やかで幸せな食の町」「教育と子育ての町」「人とふれあいを感じる町」の3つの柱を掲げて施策を推進し、健やかで幸せに安心して暮らせるまちづくりに取り組んでまいります。

京丹波町長  
畠中 源一



京丹波町の概要

京都府のほぼ中央部に位置する京丹波町は、平成17年10月11日、丹波町・瑞穂町・和知町の合併により誕生しました。

人口約1万4千人、面積は303.09平方キロメートル。標高400～900メートルの緑深き山々に囲まれ、南側の山地は分水嶺の一部を成しています。

古くから都と山陰地方を結ぶ交通の要衝として栄え、現在も京都縦貫自動車道やJR山陰本線、三つの国道が交わり、京阪神など大都市圏へ一時間台で移動できるなど比較的交通環境に恵まれた地域です。

京丹波町では、丹波高原の気候、風土を生かして質の高い農林産物が生産され、府内有数の酪農地帯であるなど、総合的な食の供給地としての産地が形成されています。

四季折々にその姿を美しく変える「琴滝」や、京都府唯一の鍾乳洞「質志鍾乳洞」、丹波高原の雄峰「長老ヶ岳」などの景勝地があり、特に紅葉シーズンには多くの観光客が訪れます。また、歴史ある建造物や史跡も多く見られ、映画のロケ地として活用されるなど古きなかにも新しいものが生み出されています。

町の花 つつじ

多くの種類が町内を彩りなじみがあることや、一輪ずつではなく小さい花がまとまって咲くことから、京丹波町が助け合い、美しい町へ発展する象徴として、平成23年10月11日に制定。



町の木 イチヨウ

町内に名所が存在し、四季を通じて姿を変える美しさの中にやさしさと力強さを感じることから、京丹波町がますます長く栄える姿の象徴として、平成23年10月11日に制定。



町の鳥 うぐいす

町内に多く生息し、春を告げる「ホーホケキョ」のさえずりが多くの人々に親しまれていることから、京丹波町がいつまでも自然豊かな町であることの象徴として、平成23年10月11日に制定。

